

◆佐渡金銀山の情報をお伝えします



佐渡金銀山だより

Sado Gold and Silver Mine Newsletter



親子で歩く世界遺産
(西三川編)
～笹川で砂金採り体験～

平成22年8月28日、西三川砂金山を佐渡市内の小学生とその保護者15人が見学しました。佐渡博物館で金銀山について説明を受けた後、西三川ゴールドパークで砂金採りを体験し、昼食後は笹川集落を散策しながら、その歴史を学びました。最後は川原での本格的な砂金採りに挑戦。夏の終わりの楽しい思い出となりました。

Vol.2
2010.9.30

Sado Gold and Silver Mine Newsletter **第2号** INDEX

- 2～3 世界遺産暫定一覧表単独記載決定 金を中心とする佐渡鉱山の遺産群
- 4 …… 調査・研究
- 5 …… シンポジウム「佐渡金銀山の魅力と世界遺産登録に向けて」
- 6 …… 国際会議で佐渡金銀山をPR
- 7 …… 仲間になりませんか
- 8 …… 委員会設置・今後のイベント情報

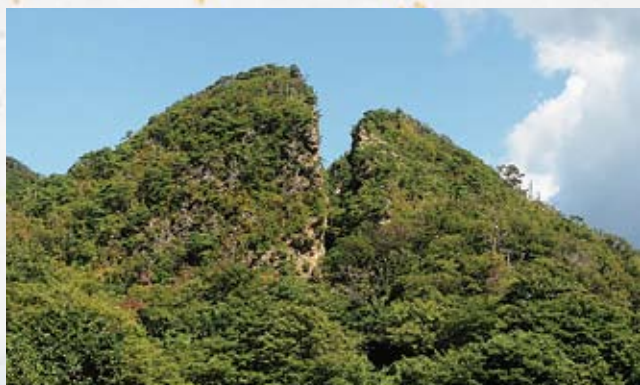
金を中心とする佐渡鉱山の遺産群

平成22年6月14日、文化審議会文化財分科会世界文化遺産特別委員会において、**単独で世界遺産暫定一覧表に記載すべきである**という審議結果が出されました。

平成19年12月に新潟県と佐渡市が共同で世界遺産暫定一覧表への記載候補として国に提案した「金と銀の島、佐渡一鉱山とその文化」については、文化審議会文化財分科会世界文化遺産特別委員会において、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」という新しい名称で、単独で世界遺産暫定一覧表に記載すべきであるという審議結果が出されました。

平成20年9月の同委員会においては、すでに世界遺産となっている「石見銀山遺跡とその文化的景観」との拡大・統合を図るべきとの審議結果が出されましたが、今回、その後の調査成果から単独でも「顕著な普遍的価値」を持つ可能性が高いとの見解が示され、佐渡金銀山単独での世界遺産登録を目指すこととなりました。

今後、世界遺産条約関係省庁連絡会議において正式に決定され、近く我が国の世界遺産暫定一覧表に記載される予定です。



顕著な普遍的価値の根拠

(平成22年6月14日開催 文化審議会文化財分科会
世界文化遺産特別委員会資料より)

- ア) 金を中心とする佐渡鉱山は、400 年以上にわたって国内外の採掘技術・手法を導入し、発展させることにより、一連の鉱山技術・鉱山経営手法に基づく文化的伝統を形成した。それは、佐渡鉱山の一群の遺跡・建造物・鉱山都市・集落として良好に継承されており、アジアの他地域の鉱山においては今や見ることでできない極めて希少な物証である。
- イ) 近世から近代にかけての鉱山技術及び鉱山経営手法の導入・発展の各段階を代表する技術の集合体としての傑出した類型である。
- ウ) また、近代以前の採鉱から製錬に至る一連の鉱山技術及び鉱山経営手法は、明治維新後の西洋鉱山技術の導入により、佐渡においてさらなる変容・発展をとげ、国内及びアジアの鉱山開発にも影響を与えた。
- エ) さらに、佐渡鉱山において製造された金貨幣は江戸幕府の社会・経済体制の重要な基盤を成すとともに、佐渡鉱山から産出した金は明治以降においても政府の基盤を成し、結果的に金本位制を基準とする国際経済にも大きな影響を与えた。
- オ) 以上の理由により、佐渡鉱山は、日本のみならずアジアを代表する稀有な鉱山の遺産として顕著な普遍的価値を持ち、世界遺産一覧表の調和と代表性を確実にする上で意義のある資産である。



よくある質問

③ 石見銀山がすでに世界遺産に登録されている以上、同種の鉱山遺跡である佐渡金銀山の世界遺産登録は難しいのではないかと？

④ 顕著な普遍的価値を持つことが証明されれば、一国内の同種遺跡であっても世界遺産に登録され得ることは、次の例が示しています。

イギリスの繊維産業関連遺跡…ダーウェント峡谷の工場群、ニュー・ラナーク、ソルテア（いずれも2001年世界遺産登録）

近年は世界遺産登録そのものが厳しくなっていますが、佐渡金銀山も、石見銀山とは異なる佐渡独自の顕著な普遍的価値を持つことが証明されれば、単独で世界遺産に登録されることになります。

世界遺産登録へのプロセス

暫定一覧表記載

「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の名称で、ユネスコに提出されている我が国の世界遺産暫定一覧表に追加記載されます。

推薦書案作成

新潟県と佐渡市が中心となり、国文化財指定や整備を進め遺跡の価値を高めるとともに、世界遺産推薦書案を作成します。

推薦書提出

推薦書案をもとに国が推薦書を作成し、ユネスコ世界遺産センターに提出します。

現地調査

推薦書が受理されると、ユネスコからの依頼により、イコモス（国際記念物遺跡会議）が専門的な見地から現地調査を行います。

世界遺産登録

現地調査やその後のイコモスでの審議結果をふまえ、ユネスコ世界遺産委員会において最終的に登録決定されます。



我が国の世界遺産暫定一覧表記載物件〔文化遺産〕一覧

記載年	物件名
平成 4年	「古都鎌倉の寺院・神社ほか」、「彦根城」
平成 13年	「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」
平成 19年	「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」、「富岡製糸場と絹産業遺産群」、「長崎の教会群とキリスト教関連資産」、「富士山」、「国立西洋美術館本館」
平成20年	「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」、「九州・山口の近代化産業遺産群」
平成22年（予定）	「百舌鳥・古市古墳群」、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」

この中から、構成資産の国文化財指定や推薦書作成等の準備が整った物件から順に、国がユネスコに対し推薦することになります。

新潟県と佐渡市は、佐渡金銀山が世界遺産にふさわしい貴重な遺跡として国際的に評価され、また、地域の宝として広く県民にその価値が共有されるよう、登録に向けて今後も精一杯取り組んでいきます。

引き続き、みなさまのご支援をお願いします。

◆西三川地区の文化的景観調査

佐渡市では、平成20年から5カ年計画で、佐渡最古の金山として知られる西三川砂金山周辺地の各種調査を実施しています。

調査では、砂金採掘によって掘り崩された斜面や平坦面といった独特の地形や、砂金山閉山後に鉱山採掘跡地や周辺の空地等を利用した農地開発が進められた歴史、江戸時代の鉱山集落の面影をそのままに残す笹川集落の構造等、全国的にも例をみない、かつての鉱山集落と現在の農村集落が一体となった景観地の特性が明らかになってきました。

今後は、この貴重な景観を保護するために、国の文化財である重要文化的景観の選定を進めるとともに、相川や鶴子といった島内各地の鉱山の文化的景観調査も実施していく予定です。

文化的景観とは、地域の人々の生活・生業によって形成された景観地のことで、平成17年の文化財保護法の改定により、新たに制定された文化財の保護制度です



◆鶴子銀山関係遺跡発掘調査速報



佐渡市では、平成22年7月1日より鶴子銀山関連の調査として、「鶴子鉱山代官屋敷跡」の発掘調査を実施しています。当該地は、天正17年（1589）に上杉景勝が銀山統治のために代官屋敷を置いたとされる場所で、慶長15年（1610）頃に廃止されたと考えられています。

現在、代官所の建物跡や製錬遺構が残されているかを調査しており、これまでに16世紀末から17世紀初頭にかけての陶磁器や製錬作業をした際に出た鉱滓（製錬で出る不純物の塊）などの遺物が出土しています。

◆佐渡金銀山絵巻調査

平成22年8月31日から9月2日にかけて、国内の鉱山研究者9名を招き、佐渡金銀山絵巻の調査研究会が行われました。佐渡金銀山絵巻は国内外に100点以上存在するといわれ、数の上では他の鉱山を圧倒しているものの、作成者や年代がはっきりしているものが少なく、これまで詳細な調査研究は行われていませんでした。

今回の研究会は、昨年度に引き続いて開催されたもので、採掘・製錬・小判製造といった各専門分野からの研究成果や、時代ごとの絵巻の特徴、佐渡の鉱山技術が国内の他の鉱山に与えた影響など、多方面にわたる報告が行われました。また、佐渡高校同窓会が所蔵する舟崎文庫の鉱山関連資料の調査も行われ、絵巻や全国的にも非常に貴重な江戸時代の貨幣製造の各工程における見本金銀の拓本資料について、活発な意見交換が行われました。



「佐渡金銀山の魅力と世界遺産登録に向けて」

平成22年6月27日(日)、佐渡市両津文化会館において、シンポジウム「佐渡金銀山の魅力と世界遺産登録に向けて」を開催しました。佐渡市民など250名が参加し、有識者による基調講演の後、新潟県副知事や佐渡市長を交え、佐渡金銀山の世界遺産登録に向けてどのような取組が必要か、住民には何が求められるのかなどについて意見交換を行いました。



◆基調講演



「歴史遺産を活かした地域づくり」

志賀秀一氏 (東北地域環境研究室代表)

世界遺産という冠を戴くことは、世界最高のブランドと認められることである。したがって、それにふさわしいまちづくりをしなければならない。また、地域のみなさんが佐渡のすばらしさを説明する能力を高めることも不可欠である。何よりも地域全体の一体感が欠かせない。



「佐渡金銀山の魅力と価値」

永松武彦氏 (ゴールデン佐渡相談役)

佐渡には全国から鉱山技術者が集まり、常に最先端技術が導入され、合理的な作業形態がとられていた。佐渡金銀山の最大の価値としては、17世紀から20世紀までの日本の鉱山の歴史がコンパクトにまとまっていること、鉱山で働いた人々のようすを絵巻等で知ることができることが挙げられる。

◆パネルディスカッション「佐渡金銀山の魅力と世界遺産登録に向けて」

パネリスト…志賀秀一氏、永松武彦氏、高野宏一郎 (佐渡市長)、吉田博 (新潟県世界遺産登録推進室参与)

コーディネーター…大野裕夫 (新潟県副知事)

「歴史は語り継がなければ単なる過去となってしまう」、つまり、世界遺産登録への取組を機に、過去・歴史について語り継ぐことの大切さを認識し、全島あげて佐渡のすばらしさを伝えていただきたい。(志賀氏)

佐渡金銀山の誇張された暗いイメージを払拭するため、私たち佐渡にいる者が正しい認識をもって佐渡を訪れる方々に事実を正確に説明していくことが重要となる。(永松氏)

今後も島としての一体感を高めていく努力をしていきたい。佐渡金銀山の価値のPRや地元の熱意の高揚な



ど、これからも市民のみなさんに声をかけて取り組んでいきたい。(高野市長)

地域の文化や歴史を誇りに思う心と世界遺産にしたいという熱意が今後は重要になってくる。最近、佐渡の方々がその地域に誇りをもち、それを外に向かって表現する動きが見られるようになってきた。(吉田参与)

佐渡は最近明るい話題が増えてきて、よい方向に動き始めている。世界遺産登録への取組の過程で、佐渡の方々、特に子どもたちが島の価値を再認識し、すばらしい島に住むことを自信と誇りをもって自慢できるようにしていきたい。(大野副知事)



◆国際会議で佐渡金銀山をPR

平成22年8月8日から22日まで、フィンランドのタンペレで開催された国際会議に新潟県と佐渡市の職員が参加し、海外の研究者に向けて佐渡金銀山の鉱山技術について紹介するとともに、周辺国の世界遺産を視察しました。

◆佐渡金銀山の紹介

世界中から産業遺産の専門家が集まる国際会議“REUSING THE INDUSTRIAL PAST (産業の過去の再利用)”が5日間にわたり開催されました。その会議で、「Technology of Sado Gold and Silver Mine (佐渡金銀山の技術)」と題し、佐渡金銀山の約400年間にわたる採掘の歴史や、そこで使われた様々な金銀製錬技術を映像を交えて紹介し、海外の研究者にPRしました。この発表には国際産業遺産保存委員会 (TICCIH) 会長をはじめ約30人の参加者があり、鉱山絵巻が描かれた理由などについての質問が出されました。こうした国際会議でのPRや各国研究者との交流は世界遺産登録に向け不可欠であり、今後も世界に向け佐渡金銀山の情報を発信していきます。

世界遺産登録された産業遺産の視察

スウェーデン

▼ファールンの大銅山地域 (2001年登録)



▼エンゲルスバーリ製鉄所 (1993年登録)



ドイツ



▲エッセンのツォルフェアイン炭鉱業遺産群 (2001年登録)



▲フェルクリンゲン製鉄所 (1994年登録)

◆西三川砂金山見学会を開催しました

平成22年 5月15日、『今昔物語集』に記された砂金採取説話の舞台とされ、中世から江戸時代にかけて佐渡の砂金採取の中心地として栄えた西三川砂金山を見学しました。

島外の人も含む約20名の参加者は、佐渡市の担当者の説明を受けながら、あざやかな新緑の中、採掘跡や水路・堤跡、江戸後期の民家などさまざまな遺跡がある笹川集落を歩き、かつての砂金山の繁栄に思いを馳せました。

また、昼食時には、笹川集落の方々から地元米のおにぎりなど、あたたかいおもてなしをいただきました。



仲間になりませんか

さまざまな保護・保全・登録推進活動などを行っている民間団体を紹介します

佐渡を世界遺産にする会 会長 弾正 俊一

佐渡市では新潟県とともに佐渡金銀山の世界文化遺産登録を目指していますが、これを市民の立場から応援しようと、平成19年3月に発足しました。会員は個人・法人を合わせ約390名。金・銀・銅関連のサミット開催や、すでに世界遺産になっている石見銀山への視察研修旅行などの活動を行っています。

今年6月に佐渡金銀山は世界遺産暫定一覧表への単独記載が決定しました。これまで築いてきた石見との絆をさらに深めつつ、佐渡金銀山の価値を県内外にPRしていきたいと思っています。また、会員相互が学びあう研修部会、関連イベント等を開催する事業部会、広報紙などで情報発信する広報部会を発足させ、活動をよりいっそう活発にしていきたいと思っています。みなさんも参加しませんか。

問い合わせ：佐渡を世界遺産にする会事務局 TEL0259-63-5136



鶴子銀山へ続く道を歩こう

代表 佐々木弘喜

相川金銀山発見より50年以上前の1542年頃から採掘され、閉山まで400年の歴史ある鶴子銀山をより深く学ぼうと発足した会



です。会員は約80名で、「子供の頃、露頭掘り跡の山や鉱山跡で遊んだ」など、主に沢根地区の参加者が多く、勉強会や草刈り作業などの活動をしています。

また「佐渡金銀山古道を守る会」が相川側から整備をしてきた古道（奉行道など）の沢根側の整備（倒木処理・草刈り）や、何本もある鶴子銀山に続く道沿いに道標（みちしるべ）や案内板を建てる作業にも取り組んでいます。

今後は地元の小学生をはじめ、多くの人が広く佐渡の歴史を学べる場として維持していきたいと思っています。



問い合わせ：鶴子銀山へ続く道を歩こう事務局
TEL0259-52-5900

佐渡金銀山古道を守る会

会長 駄栗毛 寛

平成18年11月、鶴子銀山代官所跡から鶴子山越道を経て、上相川・佐渡金銀山に至る探訪に参加して、未だに残る古道の良さを実



感したことから、有志が集まって、この古道を整備し見て楽しんでもらうことを目的に、平成19年2月、「佐渡金銀山古道を守る会」を設立しました。



同年5月に第1回歩く会を開催し、150名もの参加者がありました。年2回、春・秋に歩く会を計画し、今春まで7回の歩く会

を開催してきました。「鶴子銀山に続く道を歩こう」とも連携し、より楽しめるコース作りをしてきたこともあり、毎回コースを変え、参加者が興味を持ってもらえるよう苦労しましたが、好評だったことが活動を後押ししてくれています。

問い合わせ：佐渡金銀山古道を守る会事務局
TEL0259-57-4366

◆佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会を設置しました

新潟県と佐渡市は、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の早期かつ確実な世界遺産登録に向けた推薦書案を作成するため、平成22年9月に「佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会」を設置しました。この委員会において、顕著な普遍的価値、構成資産及び保存管理計画等について検討・協議していきます。

★佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会委員

(敬称略)

氏 名	所属・役職	氏 名	所属・役職
稲葉 信子	筑波大学大学院教授	坂井 秀弥	奈良大学教授
岡田 保良	国土舘大学教授	篠原 修	政策研究大学院大学教授、東京大学名誉教授
小風 秀雅	お茶の水女子大学大学院教授	鈴木 一義	国立科学博物館理工学研究部科学技術史グループ長
五味 文彦	放送大学教授、東京大学名誉教授	西村 幸夫	東京大学教授

他に文化庁文化財部調査官がオブザーバーとして参加します。

◆佐渡市は新たに次の委員会を設置しました

●史跡「佐渡金山遺跡」保存管理計画策定委員会

国指定史跡佐渡金山遺跡の保存管理計画については、平成6年の指定直後に策定しましたが、その後の追加指定により範囲が大幅に拡大したことや近代鉱山施設が含まれたことなどから、見直しが必要となりました。委員会では、適切な保存・管理のための基準と修復整備及び活用に関する基本方針を策定します。

●佐渡金銀山調査指導委員会

世界遺産暫定一覧表への単独記載が決定したことを受け、佐渡市ではこれまでの「歴史文化遺産群保存活用検討委員会」をリニューアルし、調査を専門とする「佐渡金銀山調査検討委員会」を設置しました。この委員会は、構成資産の国文化財指定に向けた調査及び研究の方針を検討し、適切な調査の促進を図ることを目的とします。

【全体会議】 全委員による遺跡・建造物・景観に関する総合的な会議

【文化的景観専門会議ー建造物・景観等の専門家で構成】

鉱山都市・集落景観などの調査研究

【遺跡・建造物専門会議ー遺跡・建造物の専門家で構成】

鉱山遺跡や関連寺院などの調査研究

平成22年度 今後のイベント情報

■世界遺産国際シンポジウム

「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」

(主催：文化庁、新潟県、佐渡市)

10/17(日)13:00～15:30

佐渡市あいかわ開発総合センター

基調講演 「佐渡金銀山の産業遺産としての評価」

マイルズ・オグリソープ氏

(国際産業遺産保存委員会英国代表)

パネルディスカッション 「産業遺産としての佐渡金銀山の価値と今後の整備・活用」

マイルズ・オグリソープ氏、稲葉信子氏(筑波大学大学院教授)、澤邊一郎氏(ゴールデン佐渡取締役社長)、篠原修氏(政策研究大学院大学教授)、本中眞氏(文化庁記念物課主任文化財調査官)、小風秀雅氏(お茶の水女子大学大学院教授)

◆関連イベントとして、10/16(土)夕方に講演会・音楽会、10/17(日)午前に近代化遺産等見学会を開催します。

■佐渡金銀山現地見学会

(主催：新潟県、佐渡市)

11/ 6(土)相川金銀山、鶴子銀山

■世界遺産連続講座特別編

(主催：佐渡市 共催：まちなみネットワーク)

11/14(日)13:30～15:00 金井コミュニティセンター

講師 中村賢二郎氏

(佐渡金銀山調査指導委員会委員)
(学校法人杉野学園理事長)

■佐渡金銀山講演会

(主催：新潟県「佐渡金銀山」世界遺産登録推進議員連盟)

11/27(土)13:00～16:00 朱鷺メッセ中会議室

講師 井澤英二氏(九州大学名誉教授)

植田晃一氏(日本鉱業史研究会理事)